



園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども



クラスの保育目標

- ・自分の体に関心を持ち、健康的に過ごそうとする。
- ・感染症の正しい知識がわかり、どのようにしたら予防できるのかを考え行動してみる。
- ・友達、保育者と関わりながら、様々な活動に参加し、園生活を楽しむ。



もうすぐ梅雨になりますね。日頃、登園自粛や早めのお迎え等のご協力を頂きまして本当にありがとうございます。今年は自粛、自粛でとにかく大変な年になってしまいましたね……。登園している子どもたちは、感染症に負けず、毎日元気いっぱいにご過ごしてくれて、私たち保育士もとてもパワーをもらっています！

そして最近、なぜか戸外よりも室内派が多いくじら組のみんな！特に製作遊びにはまっている子が多く、作り方や材料が入っている「製作キット」に没頭中！作り方とにらめっこしながら折ったり、貼ったり。わからないところは「これどうやってやるの〜？」とお友達や保育者の助けも借りる場面も。わからないことも、周りの仲間に助けてもらったり、助けてあげたりすることで、「自分も頑張ればやり遂げられる！」という強い気持ちや自信、仲間との信頼感につながっていくと思っています♪

★★ くじら組ピピッとNEWS ★★

つつじ公園へのお散歩。もうみんなは最年長で頼りにされるお兄さんお姉さんなので、お散歩に行くときはらっこ組のお友達と手をつなぎ、リードして歩いてくれています。歩くときには「白線の内側を歩く」「周りをよく見ながら歩く」など、年長児として必要なルールが身に付くよう、みんなで気を付けています。大人にとっては公園へ行くまでのわずかな道のりですが、子どもたちにとってはそれが大冒険。歩道を渡ったり、狭い道を通ったり、行き先や交通状況により様々です。

その日は路上駐車している車を避けて通らなくてはならず、「手をあげてわたろう！」と安全のため反対側の歩道へ渡ったとき、「くじらさんは手、はんたいにするんだよー！」と道路側歩くことを教えてくれたゆうかちゃん。周りのお友達も「あーそっか！」と言って手つなぎの位置をササッとチェンジ。

「らっこ組のお友達と手をつないでいるくじら組は、歩道の中でも道路側を歩く」ことをしっかり意識できていたようで、道路を渡り、手つなぎの位置が逆になったことをくじら組のみんなに知らせてくれた姿、とても感心しました！大人に言われてやる、ではなく自分で気づいたことを発信し、それを共有できること、とっても大事なことだと改めて感じました。そして今まで年上のお友達に「してもらっていた」側から「してあげる」側へ。こうして成長していくのだな……。！と感慨深いきもちになりました。

生活に見通しがもてるように

毎朝子どもたちと生活の流れを確認し、見通しをもって行動できるように取り組んでいます。今後、時計の針の位置にも触れ、「長い針が〇〇になるまでに準備する、片づける」など、次の活動の見通しをもって行動できるように少しずつ取り組んでいきたいと思っております。

※就学に向けて子どもたちは期待と共に、不安も抱えていくことでしょう。皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、お気軽にお声かけください。

ご用意おねがいします

6月に入り、お天気の良い日や気温が高い日は玄関前のお砂場で泥遊び、砂遊びを楽しみたいと考えています。事前にお知らせいたしますが、その際はハンドタオル(手・足を拭く用)、汚れても良い服装のご用意にご協力をお願いいたします。決まりましたら、コードモンや掲示等でお知らせいたします。